

お 知 ら せ

ち く ご おお ぜ き

こう ずい じ

筑後大堰では洪水時（ゲート全開）の操作を実施しました

1. 概要

筑後大堰では、前線の影響により、筑後大堰地点の河川流量が増加したことから、洪水を安全に流下させるため、令和5年5月7日（日）19時40分から5月8日（月）6時20分までゲートの全開操作を実施しました。

なお、今回のゲート全開操作は昭和60年4月の運用開始より、140回目（今年度は1回目）となります。

2. 状況

【雨量状況】※速報値

堰地点累計雨量：134mm

（5月6日（土）4時から5月8日（月）6時まで累計）

【河川水位状況】※速報値

ゲート全開操作実施中における

堰地点での水位 T.P. + 3.63m（5月7日（日）23時30分）

【操作状況】※速報値

全開操作開始：5月7日（日）19時40分

全開操作終了：5月8日（月）6時20分

※速報値については、今後変更することがあります。

※T.P.とは、全国の標高の基準となる海水面の高さである東京湾平均海面（Tokyo Peil）を表します。

筑後大堰の管理状況は、筑後大堰のホームページや携帯端末（スマートフォン・iモード等）でご覧になれます。

・筑後大堰のホームページは、

<https://www.water.go.jp/chikugo/coozeki/>

・現在のゲート状況は、

携帯端末（スマートフォン・iモード等） <https://ckgcoozeki.jp>



令和5年5月8日
独立行政法人水資源機構
筑後川下流総合管理所

発表記者クラブ

久留米市政記者クラブ

佐賀県政記者クラブ

問い合わせ先

○独立行政法人水資源機構 筑後川下流総合管理所

総務課長 野村（のむら）

住 所：福岡県久留米市安武町武島1063-2

電 話：0942（26）4551

参考資料 1

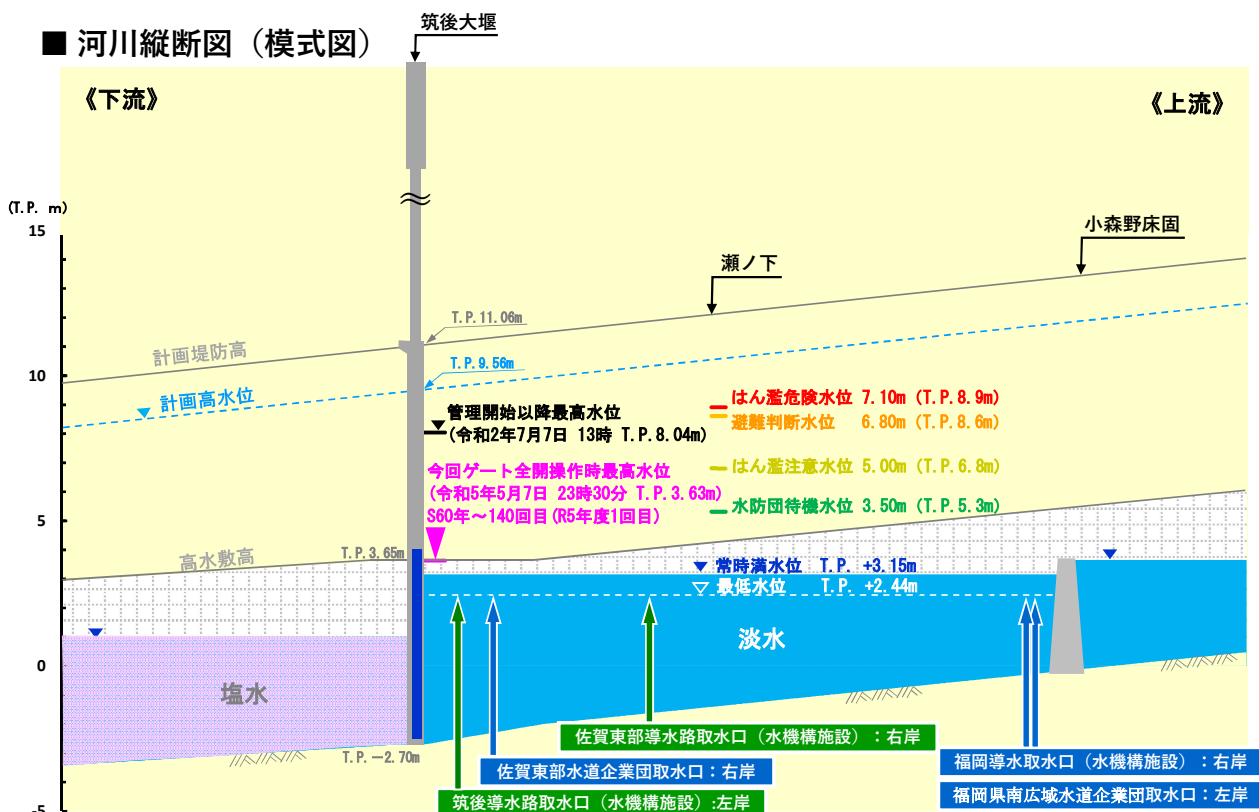
筑後大堰と堰上流取水地点との関係（堰上流6kmの範囲）



筑後大堰の運用によって、下流からの塩水遡上を防いで堰上流水域を淡水化するとともに、堰上流水位を一定に保つことにより、新たに水道用水が取水できるようになり、既得かんがい用水も安定した取水が可能になりました。水道用水を取水している堰上流部では飲用に適する塩分濃度200mg/L以下という基準を満足しています。

※写真上の塩水の着色はイメージです。

河川縦断図（模式図）

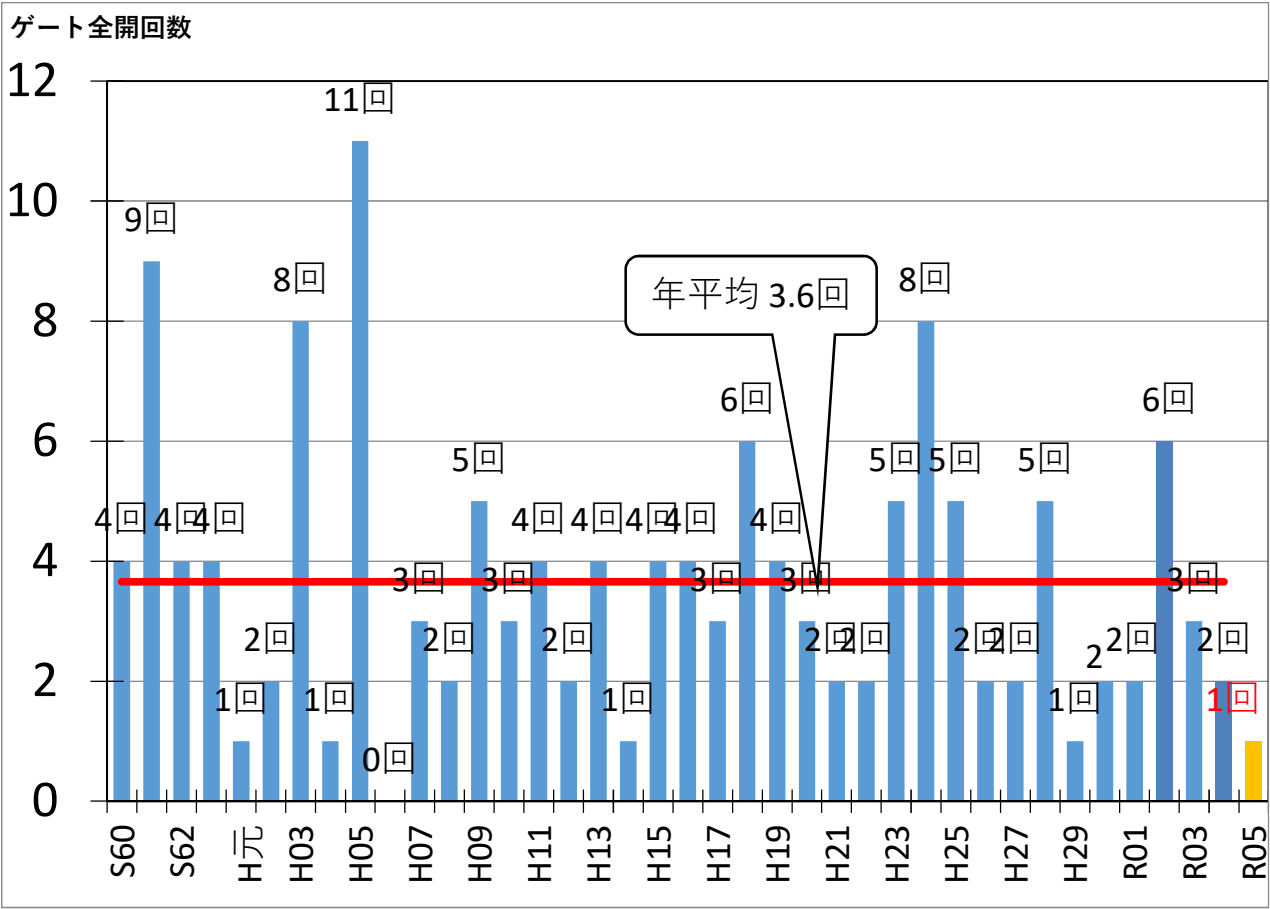


※T.P. は、東京湾平均海面からの高さ。

※瀬ノ下地点の河川水位は、国土交通省「川の防災情報」による。

※図中の塩水の着色はイメージです。

【筑後大堰における管理開始以降後の年別ゲート全開操作回数】

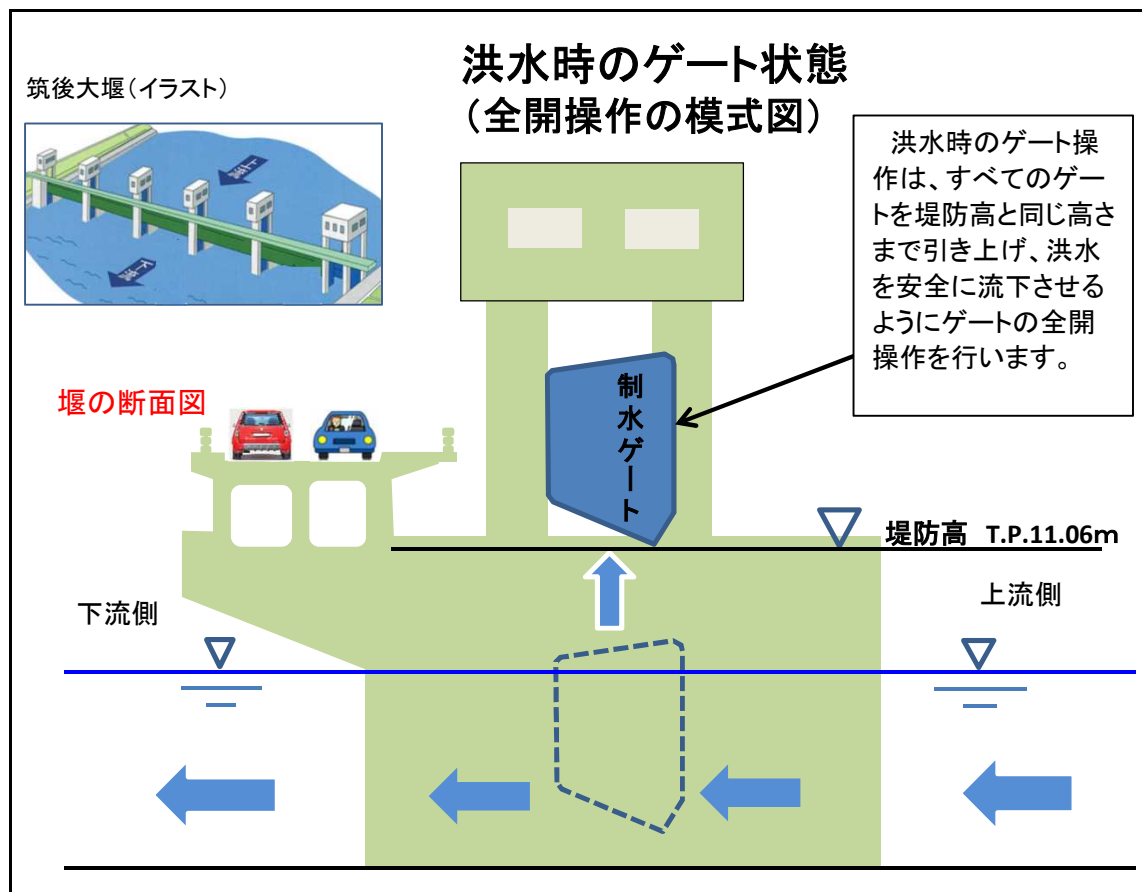
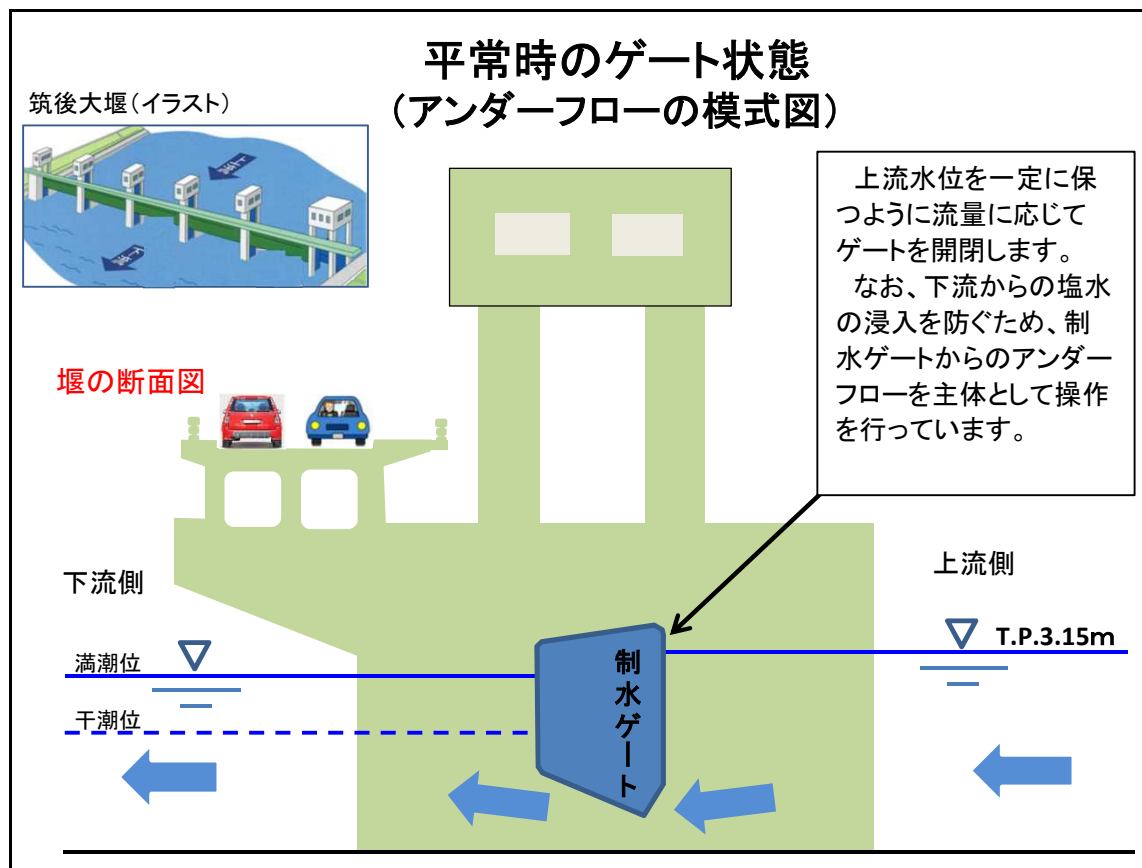


【筑後大堰における管理開始以降後の順位】

筑後大堰地点の管理開始からの最高水位上位5	
1位	T.P. 8.04m (R2.7)
2位	T.P. 7.58m (H24.7)
3位	T.P. 7.31m (H30.7)
4位	T.P. 6.59m (H2.7)
5位	T.P. 6.57m (H29.7)

(T.P. は、東京湾平均海面水位からの高さ)

※ 出水記録 1 位の T. P. 8.04m (R2.7) については速報値であり、今後変更することがあります。



※ 堰の断面図は筑後大堰管理所側(左岸側)から見たものです。